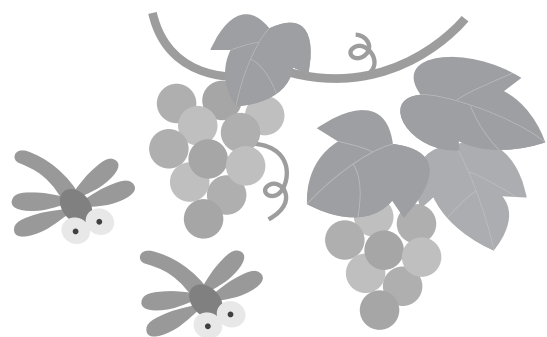


よしかわ通信



りん とう
凛 道



発行

高萩市議会議員

よし かわ どう りゅう
吉川道隆

高萩市安良川686
TEL 0293-24-0833
FAX 0293-22-3340
ホームページ <http://www.douryu.net>
E-mail info@douryu.net

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

国政の政権交代にはじまり、激動の秋となりました。小泉内閣のときに、あんなに元気だった自民党がここまでとは…そのころには誰も予想のつかない、まさに「おごれる人も久しからず、唯春の夢のごとし。…」です。無常を感じつつ、民主党もまた、とった政権を振りかざすことなく、明るい日本のために尽くしていただかなければ、「やっぱり…」なんてことになりかねないのではないかと考えています。

高萩市の平成20年度は、何とか単年度決算で黒字とすることができたようですが、まさに、それこそ目に見えて「久しからず…」です。4年後にのしかかる約50億円を心して迎えるために、浮き立つことなく、日々努力を惜しまず、引き続き、財政健全化に向けて議員も一緒になって取り組んでいくべきだと私は考えております。

平成21年9月議会

一 般 質 問

萩っ子の育成について

① 野外体験について

質問 サマージャンボリーと歴史探検隊は、育成会連合会が主になってやっていることなので、子ども会に入っている子供しか参加できない。しかし、子ども会に入る子は年々減っている。その子どもたちは、参加したいと思っても、できない。子ども会には、親の都合で入っていない子供もいる。少子化のため、会に入ると誰もが一度は役員を引き受けなければならない、だけど、いろいろな事情で、会の活動のお手伝いが出来ない。今の状況を見ていると、子ども会に入らないのは、子どもの希望ではなく、親が役員を引き受けるのが嫌だからとか、無理だから、入らないという場合が多い。そういう家庭の子は、何事にも、「体験する、積極的に参加する」ことから遠ざかってしまう。だから、本当に、心から「子供本位の事業」、「地域の子どもたちに、いろいろな体験をさせてあげたい」と思うのなら、親に負担をかけずに、子ども自らの判断で参加できる事業を用意してあげることが、地域で子供を育てることにつながっていく。育成会事業とは別に、多くの子供を対象にそういう体験ができるよう、市独自の事業として何か行わないか？

教育長答弁▶ 市内の子ども会の加入率は、全体で65.8%。前年より少し上がっている。これから、子供会に入っていないでも参加できる事業をどんどん増やしていく予定。星やホテルの観察会、収穫体験、料理教室など。今年度中に萩っ子育成事業を新たに設けていく予定。今年度は、長久保赤水先生にちなんだ活動を予定している。

② 今後の取り組み

質問 6月議会の際に、大足議員の「次世代の萩っ子の輩出は、何を目的に、どのような取り組みを行っていくのか」という質問に対し、市長の答弁において、庁内にプロジェクトチームを設置し、検証中である、整理をして次年度に反映させたいと言っていた。さらに、幼稚園、保育園の保護者を対象に新たに子育て講座を提供する準備を進めているとか…。その検討結果はどのようになったのか？ 9月議会終了後には、次年度の予算編成になりますが、次年度には具体的にどのようなことを計画されているのか？

市長・教育長答弁▶ なし

③ 公立幼稚園について

質問 スイミング指導の取り入れについて、その後はどうなったのか？ 公立幼稚園の園児募集は遅いのではないかと。私立は夏前からPR、説明会が始まっている。私立幼稚園の広告はもう入っているし、説明会も開かれている。公立にするか、私立にするか迷っている人は、比べようにも、公立がどんな保育が行われているかわからなければ比べられないのでは？ 私立に流れないようにするのであれば、早く対応しないと間に合わないのではないかと？

教育長答弁▶ スイミングは民間スクールから6月に申し入れがあり、スクールと各幼稚園と教育委員会で協議した。現在、実現に向けて開始時期や内容等について調整の段階。園児募集は10月の市報に載せる。ポスターを早めに各地区に貼って園児獲得に向けての努力をしていきたい。

④ 花火大会について

質問1 去年から中止となったが、多くの市民ががっかりしている。子供たちに間近で見る花火を体験させてあげたい、夜空に輝く、美しい光、迫力のある音、間近で見る花火の感動は、テレビや遠くから見たものとは比べ物にならない。光とともにドン！と鳴って、空気が一瞬はりつめたようになる…。あの感覚は、経験した人にしかわからない。毎年、大人も子どもも、楽しみにしていた花火、夏の一番の思い出作りとなる。また、まちの魅力づくりにもなる。市民は「高萩はお金がないから花火もなくなった」と思っている。身の丈に合った、規模を縮小してもいいから、何とかやれるように考えてほしい。予算的、人的にもやり方次第。

警備の問題が難しいのであれば、高さ制限にかからないようなものにしてほしいし、高萩小学校からとか、高いところから上げれば、花火自体の高さが高くなくても、町全体から見える。何も海にこだわることもない。経費のことを考えるなら、出せる範囲の規模にすればいい。もう少し何か、町に魅力をもたせるように考えていただきたいと思うが、どうか？

市長答弁▶ 商工会、観光協会等4者において事務局体制の維持が困難だからということで中止になった。市が主催となつては考えていない。民間の方や市民の団体がやるのに対しては、市は出来る限り協力する。

質問2 来年には、是非やれるように検討して、市の方からのお願いとして、観光協会・民間の団体等に働きかけをしていただきたい。

市長答弁▶ なし



⑤ 全国学力テストについて

質問 様々な問題もあるが、地域の子供がどの教科・分野が苦手なのかをよく把握し、子供にフィードバックして、重点をおくなど、高萩市独自の教育を取り入れていただきたい。

点数を上げる対策はしなくても、高萩の地域の子供が、どの教科のどの分野が苦手なのか、そこを十分把握し、重点的に授業を行うとか、そういった対策はとっていただきたい。教える側だけでなく、子どもたちにもフィードバックし、できなかった部分に関して、一人ひとりが自分の方向づけをできるように導いてやってほしい。

市長・教育長答弁▶ なし

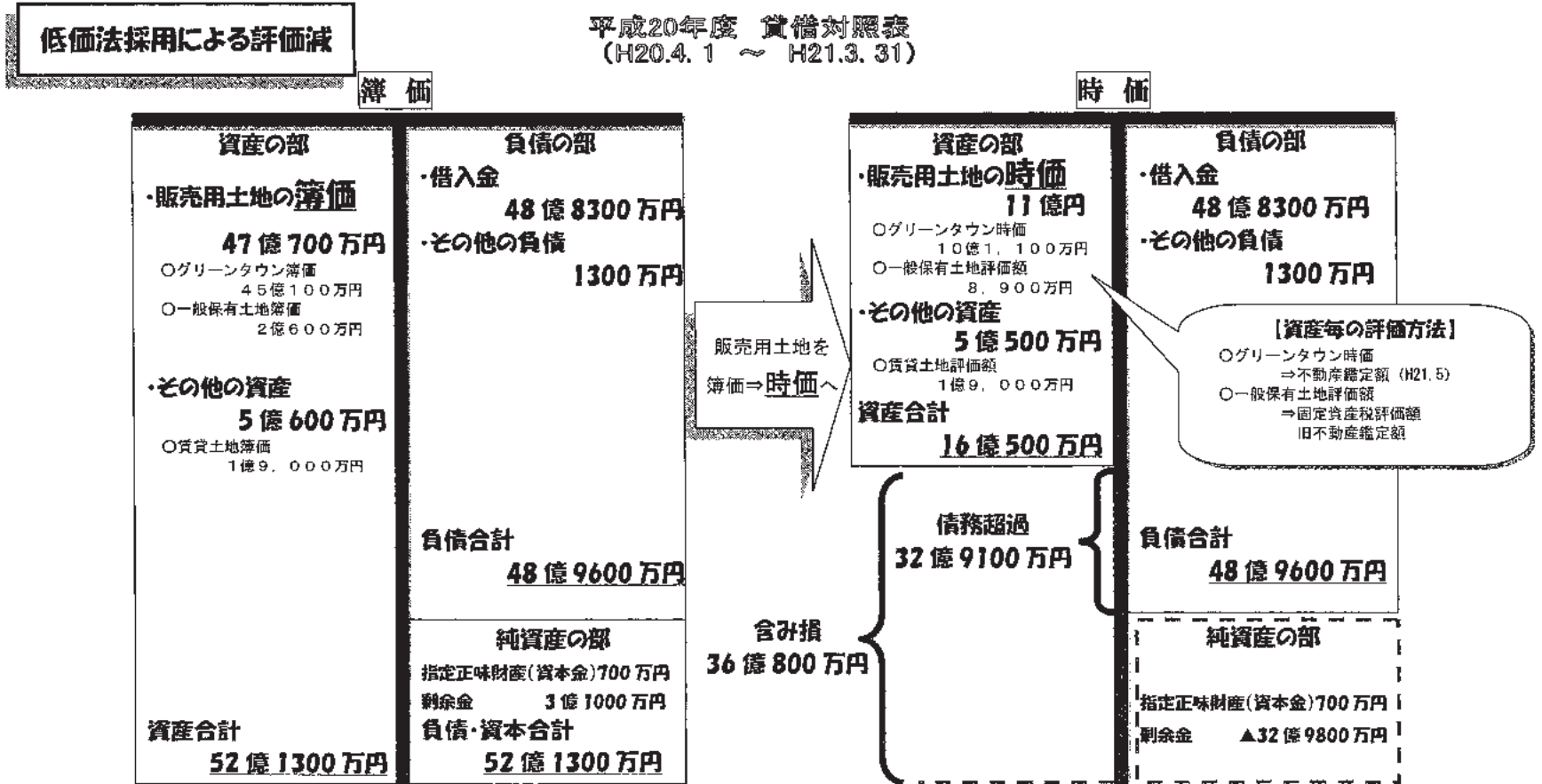
【住宅公社の保有土地に対する時価評価について】

土地を購入した時と、今とでは評価額があまりにも違うため、すべて売れても含み損が発生する。これが、問題の最大の要因である。

H21. 8. 21
議会全員協議会

住宅公社の保有土地に対する時価評価について

平成20年度 貸借対照表
(H20.4.1 ~ H21.3.31)



吉川の 考察▶

行財政健全化のおかげで、黒字決算となった20年度。職員の給与削減率を2%戻すという議案が市長から出され、それを元に補正予算が組まれました。中学校施設の耐震化経費や高萩駅構内バリアフリー化設備整備事業などもそれに盛り込まれており、補正予算案としてすんなり通しておきたいところだったのですが、「20年度決算は黒字だから、職員給与の削減は全廃にすべき。」という反対意見等により、8つの議案が否決となるという事態になってしまいました。新聞でも報道されていましたが、まさにそれは「**市長不信任**」と取られてもおかしくない状況でした。

市長の再議請求により、臨時議会が開かれ、議員提案の「削減を全廃する」旨の議案は、所定数(3分の2、12票)に達しないので、少数で否決となり、行政側から出された「行財政健全化を継続していく方向で、削減率2%の議案」が賛成多数で可決でした。市長および行政側の計画を崩さずに、かろうじて通すことができたということになります。

上の図のとおり、現時点では国の「健全化法」により、財政状況が悪化した公社等は、平成25年11月30日がタイムリミットで、強制解散となります。この負債は、市の一般会計から補てんしなければなりません。高萩市は、現在の計画からみると、少なくとも、含み損36億がのしかかってくることとなります。したがって、来るべくして来ると予想される、最悪の状況を考えても、今の時点で、単年度決算が黒字だからと言って、市の行政健全化をやめるのではなく、継続して、その時に備えておくべきであると、私も考えております。

そう考えると、今回の場合、市長の行った「再議請求」については、当然だったと思いますが、しかし、あまりそんなことばかりやっても、議会を含め、高萩市の組織そのものの信頼性が失墜してしまうので、いかがなものでしょうか？

市が進める行財政健全化に理解しない議会と、議会の採決を何度も問いただす市長と、こんなことでは高萩市の将来を案じずにはられません。**私も、必ずしも、行財政健全化のすべてが正しいとは思いません。微力ではありますが、少しずつでも高萩市の将来をいい方向にもっていけるよう努力していきたい**と思います。